

取扱説明書

マルチシンク液晶ディスプレイ

MultiSync[®] EA242WU

MODEL: EA242WU/EA242WU-BK

各規格認証は上記型名のいずれかで取得しています。

目次

ご使用の前に.....	1	安全のために必ず守ること.....	3
TCO Certified – 第三者機関による IT 製品の持続可能性 認定.....	2	推奨使用方法.....	11

主な特長

1 章 設置と接続

各部の名称.....	15	電源コードを接続する.....	19
設置.....	17	信号ケーブルを接続する.....	20
設置手順.....	17	周辺機器と接続する.....	24
縦型で使用する場合.....	18	複数台のディスプレイをマルチ接続する場合.....	26
接続.....	19		

2 章 基本操作

Plug&Play 機能.....	29	人感センサー機能.....	31
拡大・スムージングファイン機能.....	29	オートブライトネス機能.....	32
自動入力選択機能（3 系統入力時）.....	29	画面調節（OSD 機能）.....	33
パワーマネージメント機能.....	30		

3 章 困ったとき

故障かな?と思ったら.....	35
-----------------	----

4 章 仕様

EA242WU.....	41
--------------	----

付録 A OSD 調節リスト

ECO 機能.....	43	メニューツール.....	47
画面調節.....	45	ECO インフォメーション.....	49
カラー調節.....	45	インフォメーション.....	49
ツール.....	46		

付録 B 市販のアームを取り付けるとき

市販のアームを取り付けるとき.....	51
---------------------	----

付録 C その他

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）.....	53	保証とアフターサービス.....	53
-----------------------------	----	------------------	----

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

⚠ 注意 注意2を参照ください。

注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI、DisplayPort、USB、USB-C® はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク： 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク： 同化学物質が含有率基準値以下 (但し除外項目あり) である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

Windows® は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

MultiSync® は、シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

USB Type-C® および USB-C® は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。



- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「保証書」・「セットアップマニュアル」は大切に保管してください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されてる画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では(3)項および(4)項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 本書はすべての地域に共通して提供されるため、他の国に関する記載を含む場合があります。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00012% 以下です。

本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】 一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

TCO Certified – 第三者機関による IT 製品の持続可能性認定



TCO Certified は、IT 製品のグローバルな持続可能性認定で、コンピューター、モバイルデバイス、ディスプレイ製品とデータセンター製品で利用できます。認定基準は、社会と環境の両方の持続可能性を対象にしており、循環型社会の実現を目指します。認定基準への準拠は、個別に認証されます。TCO Certified は、ISO 14024 に準拠した第三者機関による認定です。

TCO に認証された当社の液晶ディスプレイの一覧表と該当する TCO Certification（英語のみ）は、当社ホームページ <https://jpn.nec.com/products/ds/display/tco/index.html> をご覧ください。




安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。








	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。






警告

1	 プラグを抜く	<p>故障したときは電源プラグを抜く</p> <p>本機から煙が出ている、変なおいがある、変な音がする場合や、本機を落としたりキャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p> <p>お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
2	 感電注意  分解禁止  修理・改造禁止	<p>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理の場合は販売店へお問い合わせください。</p>
3	 使用禁止	<p>ぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</p> <p>本機が転倒してけがの原因となることがあります。お買い上げの販売店にご連絡ください。</p>
4	 傷つけ禁止  指示	<p>電源コードを傷つけない</p> <p>電源コードは大切に取り扱いってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コードの上に重い物をのせない ・コードを本機の下敷きにしない ・コードの上を敷物などで覆わない ・コードを傷つけない、加工しない ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ・コードを加熱しない <p>電源コードが破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
5	 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</p> <p>雷が鳴り出したら電源コードなどには触れないでください。感電の原因となります。</p>




警告

6	 禁止	<p>添付されているもの以外の電源コードは使用しない 本機に添付している電源コードは本機専用です。 安全のため他の機器には使用できません。</p>
7	 指示	<p>正しい電源電圧で使用する 日本国内専用です。 指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。 一般のご家庭のコンセント（AC 100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC 100 V 以外で使用しないでください。</p>
8	 禁止	<p>アース線を挿入・接触しない 電源コードのアース線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p>
9	 設置禁止  禁止  屋外での 使用禁止  指示	<p>設置するときに気を付けること 本機はスタンドなどの取り付け器具なしで設置、運用することはできません。 移動や設置の際は十分な安全を確保できる人数で設置してください。 落下してけがの原因となることがあります。 布などで通風口をふさがないでください。 風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。 以下の場所に設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の悪い場所 ・ 直射日光や熱器具のそば ・ 振動の多い所 ・ 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所 ・ 屋外 ・ 温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい環境 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。 <p>取扱説明書の指示を守り、これ以外での設置はしないでください。</p>










警告

<p>10</p>	 禁止  指示	<p>地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をする</p> <p>取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。</p> <p>固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市販のアームまたはスタンドを取り付ける際は、本機を支えるのに十分なものをご使用ください。 ・ アームまたはスタンドを取り付ける際は、指定のネジを使用し、しっかり締めてください。液晶ディスプレイの転倒または落下の原因となることがあります。 ・ ネジのゆるみ防止のためすべてのネジをしっかりと締めてください。(98 ~ 137N・cm が適切な締めトルクです。) ・ 液晶ディスプレイの表示部を下にして置いたまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をしてください。落下してけがの原因となることがあります。 <p>安定性と危険について</p> <p>本機が落下すると重大事故の原因となるおそれがあります。けがなどの危害を軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付けてください。 ・ 本機を安全に支えることができる家具に設置してください。 ・ 本機がはみださない大きさの家具に設置してください。 ・ 本機に触ろうとして設置している家具に登ったりすると危険であることをお子様に説明してください。 ・ 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線してください。 ・ 本機を不安定な場所に設置しないでください。 ・ 本機を背の高い家具に設置する場合は、本機と家具、家具と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定してください。 ・ 本機の下に布などを敷かないでください。 ・ 本機や設置している家具の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かないでください。 ・ 高所への設置の際は、市販の壁掛け金具をご使用ください。スタンドを使用した状態で高所への設置はおやめください。 <p>設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。</p>
<p>11</p>	 禁止	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>
<p>12</p>	 禁止  感電注意	<p>異物をいれない</p> <p>火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。</p> <p>異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>


 **警告**

13	 水ぬれ禁止	水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。
14	 禁止	清掃時に気を付けること 付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。
15	 禁止	生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。



⚠ 注意

1	 プラグを持つ  しっかり 差し込む  めれ手禁止  プラグを抜く  禁止  ほこりを取る  アース線を 接続せよ  感電注意	<p>電源コードは注意して取り扱う 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源プラグを奥までさしこむ ・ 電源コードが容易に抜けるのを防止する ・ めれた手で電源プラグを抜き差ししない ・ 電源コードの抜き差しはプラグ部分を持つ ・ お手入れの際は電源プラグを抜く ・ 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く ・ 電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない ・ 長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く ・ 機器のアース線は確実に接続する <p>本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でアース線の接続、取り外しをしてください。</p>
2	 指示	<p>建物に設置された配電盤は 100 V 最大 20 A の回路遮断装置を備えていることを確認してください。</p>
3	 禁止  指示	<p>電源コードおよび USB ケーブルは束ねず（丸めず）使用する ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。</p>
4	 設置禁止	<p>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p>

⚠ 注意

5	 禁止	<p>本機を設置している台には乗らない 置き台には乗らないでください。 また、キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p>
6	 ケガに注意  手の挟みこみに注意  指示	<p>スタンドの取り付けや取り外し、調節をする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタンド調節時または市販のアーム取り付け時に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 ・ 本機を回転させる場合は必ず電源コード、信号ケーブルを外してください。外さずに回転すると、ケーブル類が引っ張られけがの原因となることがあります。 ・ 本機を回転する場合は、必ず本機を一番高い位置までスライドし、画面を上方に傾けてください。低い位置のまま回転すると、指を挟むなど、けがの原因となることがあります。また、机にぶつけるなど、事故の原因となることがあります。
7	 禁止	<p>市販のアームを取り付ける場合 市販のアームを使用する際には、仕様のチルト角度を確認してください。下方向に5度を超える傾きで設置しないでください。液晶パネルが落下し、けがの原因となることがあります。</p>
8	 禁止	<p>本機を強く押さない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。</p>
9	 禁止	<p>液晶パネルに衝撃を加えない 破損してけがや故障の原因となることがあります。</p>
10	 指示	<p>適度な明るさの環境で使用する 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
11	 禁止	<p>ヘッドホンを装着したまま接続しない 音量によっては耳を傷める原因となることがあります。</p>
12	 禁止	<p>ポリ袋で遊ばない 本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。 特にお子様にご注意ください。</p>
13	 内部掃除	<p>1年に一度は内部掃除をする 内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>
14	 指示	<p>温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保管を避ける 以下の使用環境・保管環境で本機をご使用、保管ください。守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。 使用環境温度：5～35℃ / 湿度：20～80% (結露のないこと) 保管環境温度：-10～60℃ / 湿度：10～85% (結露のないこと)</p>

ディスプレイの上手な使い方

 <p>国内専用</p>	<p>日本国内専用です</p> <p>この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。</p> <p>This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>キャビネットのお手入れ</p> <p>お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</p> <p>ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。</p>
<p>液晶パネルのお手入れ</p> <p>パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押しついたりこすつたりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようにご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。</p>	
<p>上手な見方</p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	
<p>部品寿命による影響</p> <p>保証書に明記されている保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>	

重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ静止面を表示したり、高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示すると画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。

液晶ディスプレイの特性のため故障ではありません。

使用状況によって残像が消えなくなる場合もありますので、以下に注意してご使用ください。

注意事項

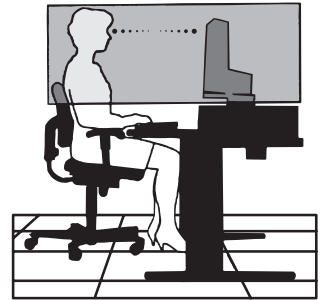
- 高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示しない。
- 同一の静止画を長時間表示し続けない。

残像を軽減する方法として、コンピューターのパワーマネジメント機能やスクリーンセーバーなどを使用し、画面表示を変えることをおすすめします。

推奨使用方法

液晶ディスプレイを正しい位置に置いて正しく調節することで、目、肩および首の疲労を軽減することができます。液晶ディスプレイの前にすわる際には以下の点を確認してください。

- ・ 最適な性能を得るためには、ウォームアップのため20分間の余裕をもたせるようにしてください。
- ・ 画面の上部が目線か目線より少し下にくるようにディスプレイの高さを調節します。画面の中央を見たときに、目線がわずかに下がるようにします。
- ・ ディスプレイは、目の位置から40センチ以上離し、また70センチ以上離れない位置に設置します。目からディスプレイまでの最適な距離は50センチです。
- ・ 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れたり視力が低下することがあります。1時間ごとに5分から10分の休憩を取り、6メートル以上離れたものを見るなどして目を休ませてください。また、疲れを感じた場合は目を休ませてください。
- ・ 画面のぎらつきや反射を最小限に抑えるため、窓などの光源に対して90度になるようにディスプレイを設置します。天井の照明が画面上に反射しないよう、ディスプレイの傾きを調節します。
- ・ 光の反射で画面が見にくい場合には、ぎらつき防止フィルターを使用してください。
- ・ ほこりの付かない表面の滑らかな布を使ってディスプレイの表面を拭いてください。クリーニング溶剤もしくはガラスクリーナーの使用は避けてください。
- ・ 画面が見やすくなるよう、ディスプレイの輝度およびコントラスト制御を調節します。
- ・ 文書フォルダーは画面の近くに置いて使用してください。
- ・ より頻繁に見るもの(画面もしくは参照資料)が直接目の前にくるように配置することで、キーボード入力中の頭の動きを最小限に抑えることができます。
- ・ 画面の焼き付き(残像効果)を防止するため、長時間にわたって固定したパターンを表示することは避けてください。
- ・ 時々、まばたきをするようにしてください。眼精疲労を予防する眼球体操などを心がけてください。詳細は眼科医にご相談ください。定期的に眼科検診を受けてください。



お知らせ

人間工学上の利点を最大限に発揮させるため、以下を推奨します。

- ・ 標準信号を用いて、プリセットされた画面サイズ・位置にて使用してください。
- ・ あらかじめ設定されている色を使用してください。
- ・ ノンインターレース信号にて使用してください。
- ・ 暗い背景上の青の原色表示は見にくく、またコントラスト不足による目の疲労を引き起こすおそれがあるため、使用はお控えください。

主な特長

WUXGA 対応の高解像度 24 型ワイド液晶ディスプレイ

- 1920 × 1200 の解像度に対応
- 3 辺スリムベゼルを採用

生産性の向上

- LAN(RJ-45) 接続による安定かつ高速な通信が可能(16 ページ、46 ページ)
- USB Type-C ケーブル 1 本で電力(65 W)、データ、音声をすべて同時に伝送可能
- キーボード、マウスを接続できる USB Hub を搭載

3 台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示

- USB Type-C、DisplayPort、HDMI の 3 系統の入力端子を装備

音声入力に対応

- ステレオスピーカー内蔵(1W + 1W)(46 ページ)
- ヘッドホン端子も装備(16 ページ、24 ページ)
- 音声入力は USB Type-C、DisplayPort、HDMI に対応

便利な OSD 機能 (On Screen Display) (33 ページ)

- 画面の明るさ、色などの調節に加え、OSD 表示に関する設定も可能
- 調節項目へのアクセスを容易にするグループアイコン構成

消費電力の削減

- 2 段階のエコモード設定機能(43 ページ)
- 発光効率が優れた白色 LED(発光ダイオード)搭載のバックライトパネルを採用
- 離席を検知し、消費電力を削減する人感センサー搭載

快適な作業環境

- 本機の角度を上下・左右調節でき、高さは最大 150mm まで変更可能(41 ページ)
- 本機を 90 度回転し、縦型表示による作業も可能(18 ページ)

目に優しい画面表示

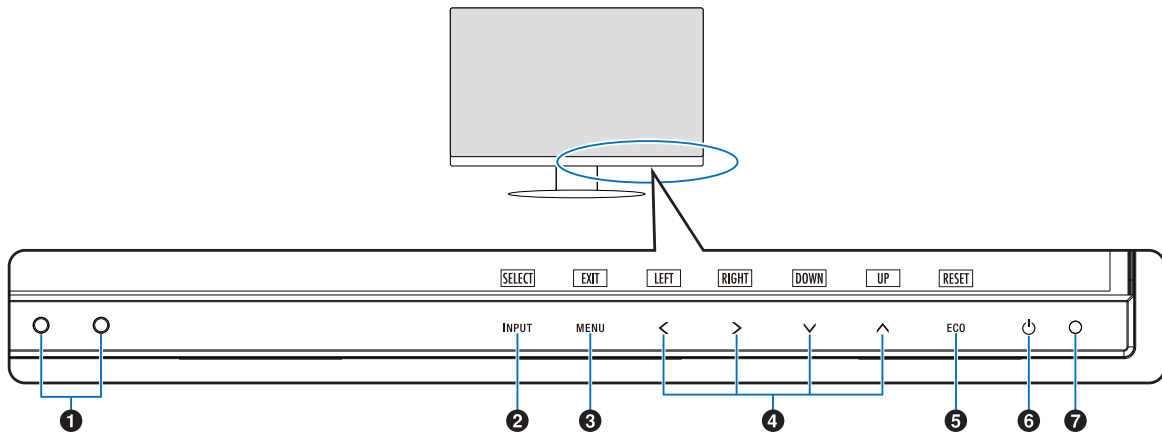
- ブルーライト低減モードを搭載(15ページ、45ページ)
- 画面のちらつき(フリッカー)を抑えたバックライト設計

1 章 設置と接続

この章の内容：

- ⇒ 各部の名称 (15 ページ)
- ⇒ 接続 (19 ページ)
- ⇒ 設置 (17 ページ)
 - ⇒ 設置手順 (17 ページ)
 - ⇒ 縦型で使用する場合 (18 ページ)
- ⇒ 接続 (19 ページ)
 - ⇒ 電源コードを接続する (19 ページ)
 - ⇒ 信号ケーブルを接続する (20 ページ)
 - ⇒ 周辺機器と接続する (24 ページ)
 - ⇒ 複数台のディスプレイをマルチ接続する場合 (26 ページ)

各部の名称



① 照度センサー / 人感センサー

照度センサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。「OFF MODE SETTING」機能 (43 ページ) と「オートブライトネス」機能 (43 ページ) 使用時に作動します。「OFF MODE SETTING」機能と「オートブライトネス」機能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

人感センサー

本機の正面に在席していることを検知するセンサーです。人感センサー機能 (31 ページ) 使用時に作動します。人感センサー機能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

② INPUT/SELECT*¹ キー

OSD 画面が表示されていない場合

- 入力切替メニューを表示します。(図 1)
- 3 秒以上タッチすると「L/B」(ブルーライト低減モード) に切り替わります。(45 ページ)

OSD 画面が表示されている場合

選択した項目を決定します。

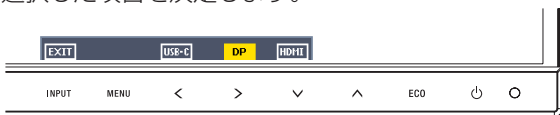


図 1

③ MENU/EXIT*¹ キー

OSD 画面が表示されていない場合

OSD 画面を表示します。3 秒以上タッチし続けると「CUSTOMIZE SETTING」が記憶した設定を復元することができます。

OSD 画面が表示されている場合

OSD 画面を消します。OSD 画面を操作しているときにタッチすると、1 つ上の画面に戻ります。

④ <> √ ∨ / LEFT*^{1,*2}、RIGHT*^{1,*2}、DOWN*^{1,*2}、UP*^{1,*2} キー

OSD 画面が表示されていない場合

「ホットキー」(48 ページ) が「オン」に設定されているときに、∧で「ブライトネス」∨で「音量」の OSD 画面が表示されます。

OSD 画面が表示されている場合

OSD 画面の操作をします。

⑤ ECO キー / RESET*¹ キー

OSD 画面が表示されていない場合

「ホットキー」(48 ページ) が「オン」に設定されているときに、以下の機能を使用できます。

- 「ECO MODE」を切り替えます(「オフ」、「1」、「2」)(43 ページ)。画面右上に現在の状態が表示されます。

OSD 画面が表示されている場合

表示されているグループアイコンのサブメニュー全体、または各調節項目のリセット画面が表示されます。リセットする場合は、画面の表示に従って INPUT / SELECT キーをタッチしてください。

*1 OSD 画面で「KEY GUIDE」(48 ページ) をオンにした際、画面上に表示されます。

*2 「OSD 方向」(47 ページ) の設定によって、<、>、∨、∧キーに表示される各キーガイド「LEFT」/「RIGHT」/「DOWN」/「UP」は替わります。

お知らせ

- 各キーによる詳しい OSD 画面の操作については「画面調節 (OSD 機能)」(33 ページ) をご覧ください。

⑥ 電源スイッチ

電源をオン/オフするときにタッチします。

お願い

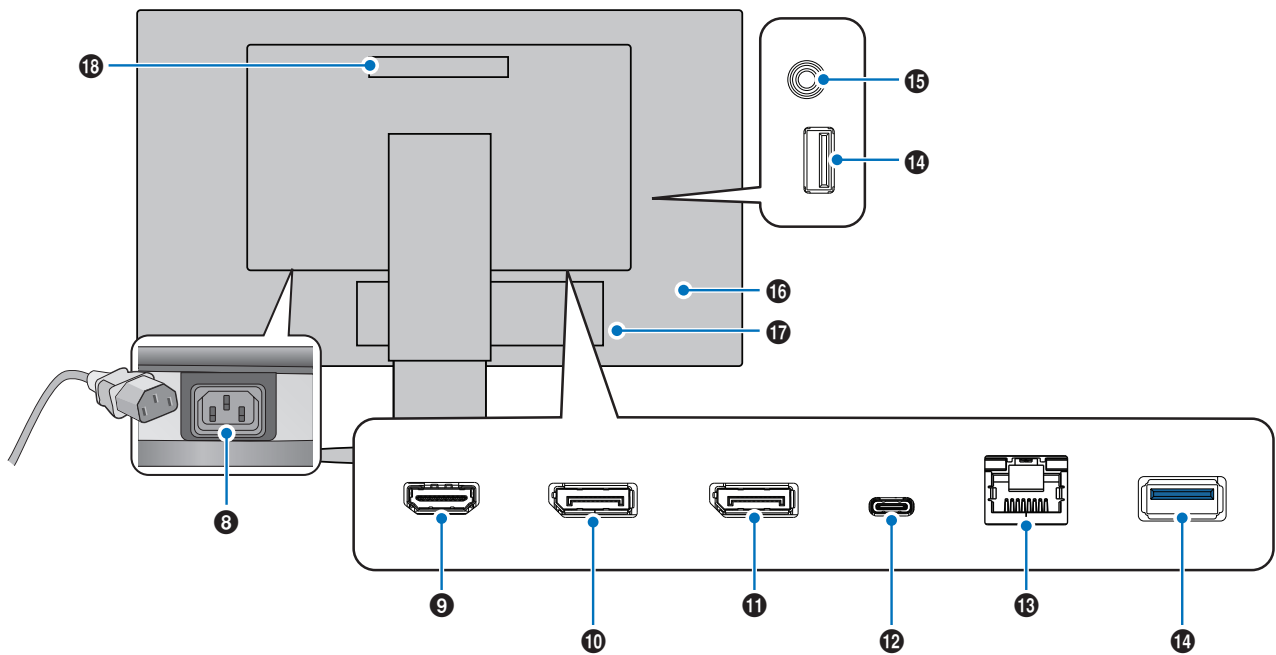
電源を短時間のうちに頻繁にオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

お知らせ

本機は入力信号がない状態が 2 時間以上継続すると自動的に電源をオフにする「POWER SAVE TIMER」機能 (46 ページ) があります。

⑦ 電源ランプ

電源を入れたとき、青色に点灯します。パワーマネジメント機能の作動中は、橙色に点灯します。(30 ページ) 電源を入れても電源スイッチが点灯しない場合は、「LED ブライトネス」調節機能 (46 ページ) で輝度を下げているか確認してください。



⑧ 電源入力コネクタ

電源コードを接続します。

⑨ HDMI 入力コネクタ

HDMI ケーブルでデジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

⑩ DisplayPort 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort ケーブルを接続します。

⑪ DisplayPort 出力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort ケーブルを接続します。

⑫ USB-C® ポート

USB Type-C® 規格に準拠したコンピューターと接続します。

接続する機器により給電ができます。
詳細は「仕様」を参照ください。

⑬ LAN ポート (RJ-45)

USB-LAN 変換機能を内蔵しています。
コンピューターから USB を経由して LAN に接続することができます。

お知らせ

- LAN ケーブルを接続していると LED が点灯します。
接続時：緑色の LED が点灯します。
通信時：橙色の LED が点滅します。
- 本機の有線 LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

⑭ USB ダウンストリームポート (USB Type-A)

USB 機器を接続します。

⑮ ヘッドホン端子

ヘッドホン接続します。
ヘッドホン接続している場合、スピーカーから音は出ません。

⑯ セキュリティスロット

セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。
製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

⑰ ラベル

⑱ ハンドル

持ち運びを容易にします。

設置

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品はセットアップマニュアルを参照ください。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

設置手順

ベーススタンドを取り付ける

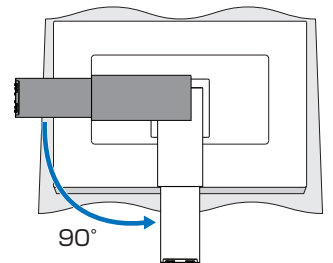
1. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下向きにして置く

お願い

液晶パネルを下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。
また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。

2. 図のようにスタンド部分を 90 度回転させる

⚠ 注意 注意 6 を参照ください。

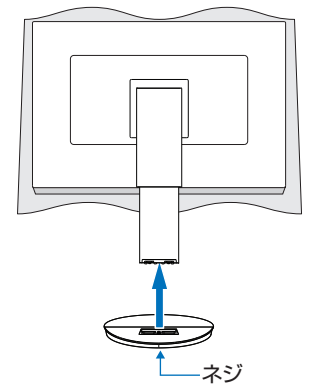


3. ベーススタンドに取り付けられているネジを使ってスタンドにベーススタンドを取り付ける

⚠ 警告 警告 10 を参照ください。

お願い

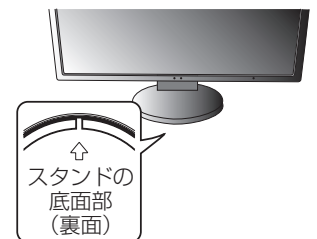
再梱包する場合は、逆の手順で梱包します。



本機を使用する場所に設置する

お願い

スタンド底面部にある↑を右図のように手前に向けて設置してください。
↑の位置がずれていると、左右均等にスイーベルしなくなります。



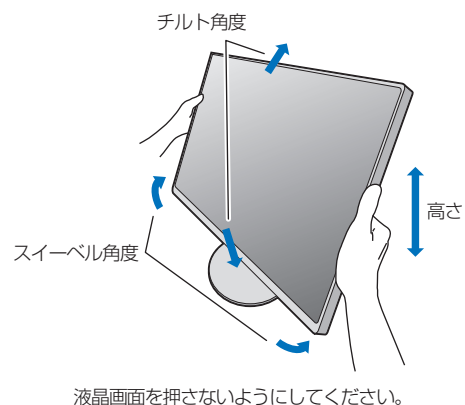
電源コード・信号ケーブルを接続する

接続 (20 ページ) を参照し、電源コードや信号ケーブルを接続してください。

高さと角度を調節する

お好みに合わせて本機の高さと角度を調節してください。
図のように見やすい高さおよび角度に調節します。

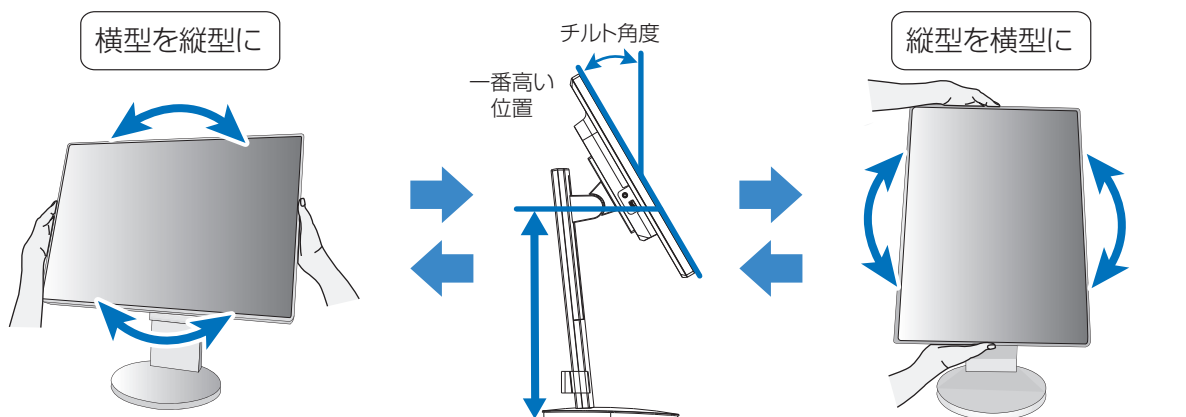
⚠ 注意 注意 6 を参照ください。



縦型で使用する場合

1. 縦型に回転する

本機を一番高い位置までスライドします。
本機のチルトの角度を最大にします。
本機の両端をしっかり持ち、回転させてください。
本機のピボット角度は図の通りです。



⚠ 注意 注意 6、注意 9 を参照ください。

2. 各種ケーブルを接続する

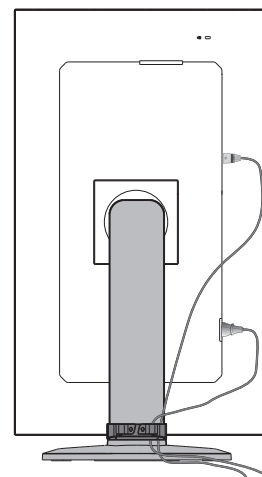
・「接続」(20 ページ) を参考に電源コード、信号ケーブルを接続してください。

お願い

図を参考に、信号ケーブルに十分なたわみがあることを確認してください。
信号ケーブルの断線等の原因となります。

お知らせ

- ・ 縦型表示を実現するためには、縦型表示に対応しているビデオカードが必要です。
- ・ 本機を縦型に回転しても OSD 画面は自動的に縦型表示にはなりません。
「OSD 方向」(47 ページ) にて設定してください。



接続

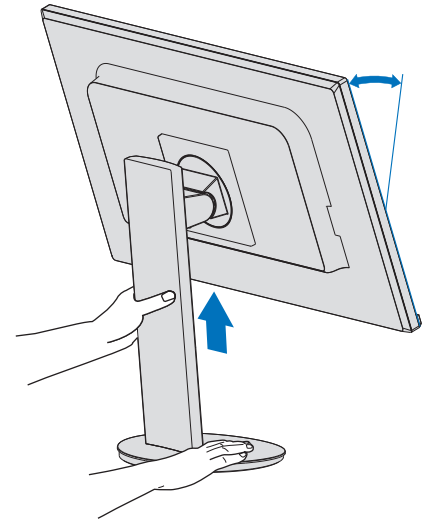
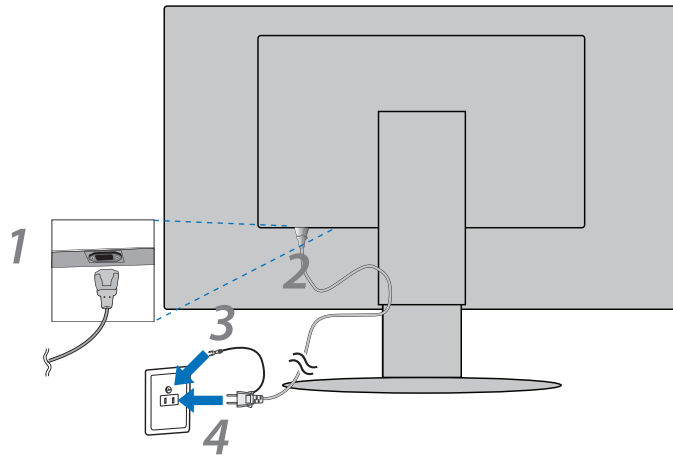
電源コードを接続する

画面を一番高い位置までスライドさせ、上方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単です。

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。
- 奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機の角度を変えても、電源コードが外れないことを確認してください。



2. アース線をアースに接続する

3. 電源プラグを AC100V 電源コンセントに接続する

⚠ 警告 警告 6、警告 7、警告 8 を参照ください。

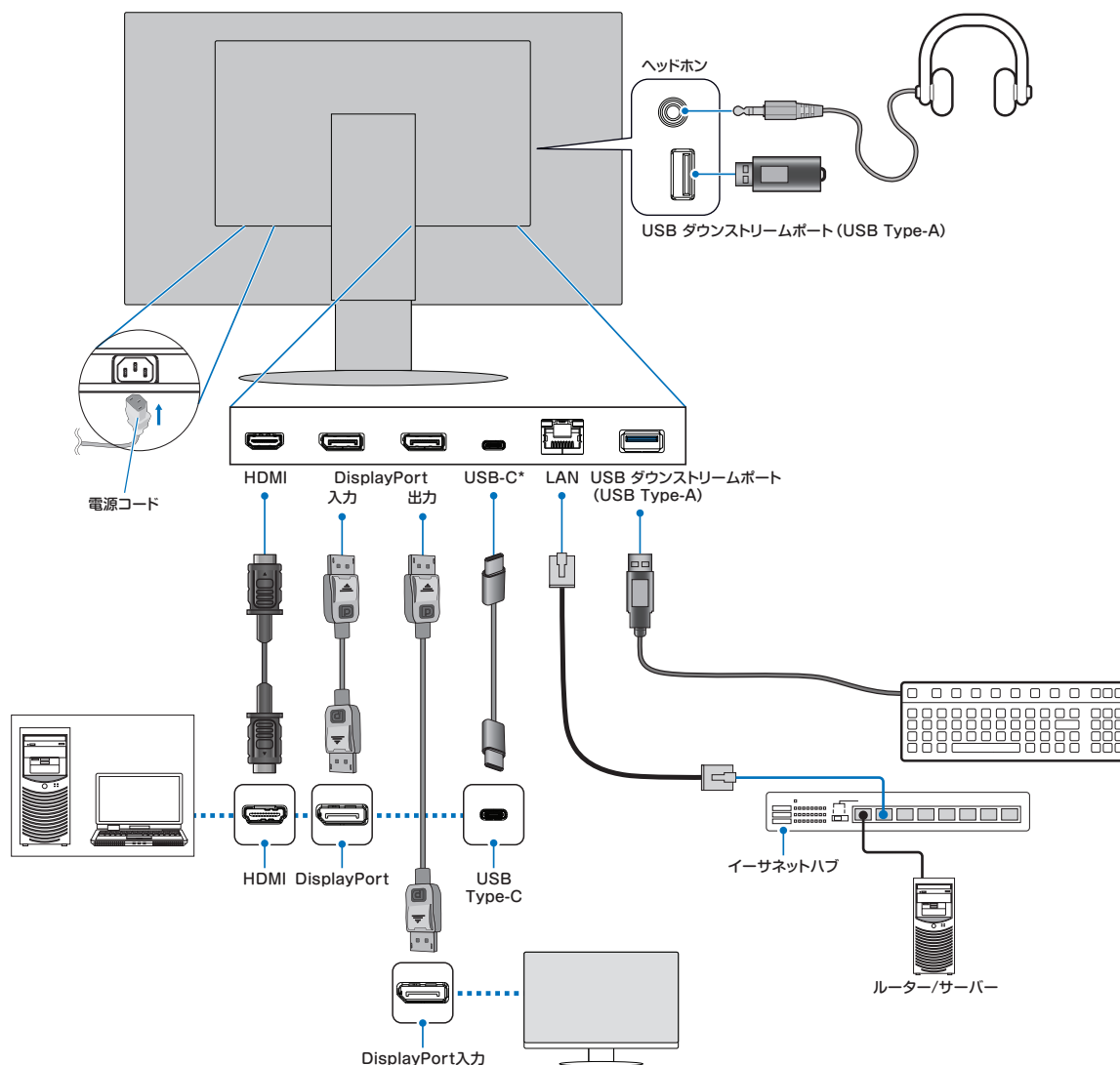
⚠ 注意 注意 1 を参照ください。

お願い

電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

信号ケーブルを接続する

1. 信号ケーブルを接続する



注意

添付のケーブルを使用してください。
HDMI、DisplayPort、USB、USB-C はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

お願い

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。
- 本機または外部機器の電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しをしないでください。
- DisplayPort ケーブルおよび USB-C ケーブルは付属品をご使用ください。

※ 市販の変換アダプターやケーブルをご使用の際は接続されるコンピューターのコネクタ形状にあったものをお買い求めください。

※ ケーブル類は端子の向きを確認してつないでください。

※ HDMI、DisplayPort 規格に準拠した機器およびケーブルを接続してください。

※ HDMI 接続の場合、一部の機器では映像や音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。

* USB-C

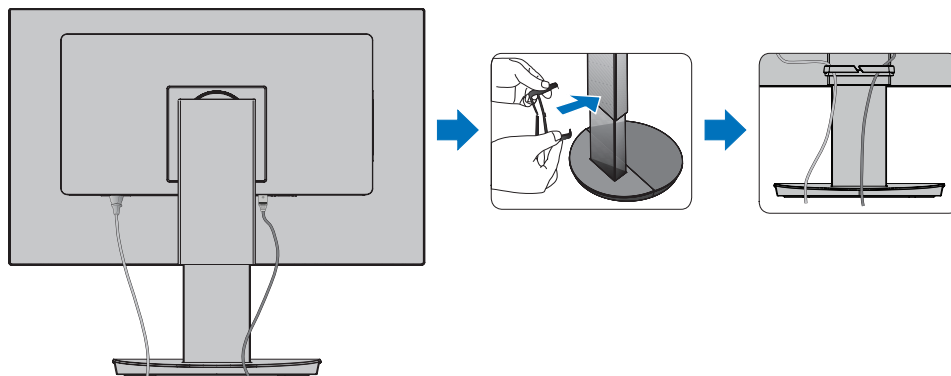
- 接続する USB Type-C 機器が DisplayPort Alt Mode on USB Type-C 規格に対応している場合に動作します。対応していない場合は、USB ハブとして使用できます。

2. 電源コード、信号ケーブル、USB ケーブルをケーブルホルダー内に収める

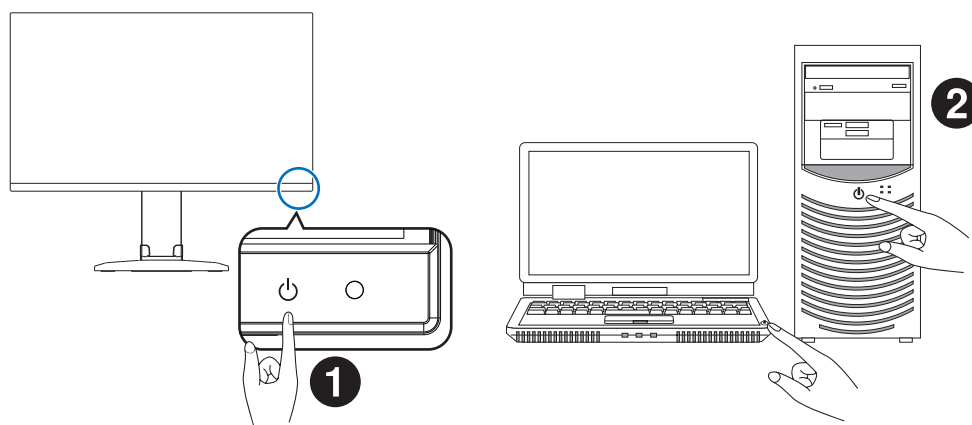
※ケーブルマネジメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

お願い

- ケーブル類はケーブルホルダーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- 画面を前後に動かし、ケーブル類に十分な余裕があることを確認してください。
- 図を参考にして、ケーブル類のたわみが十分にあることを確認してください。ケーブル類のたわみが不十分な場合は、ケーブルの断線などが発生する原因となります。



3. 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる



信号の種類と端子接続

デジタル映像信号

- HDMI – コンピューターやストリーミングメディアプレーヤー、Blu-ray プレーヤー、ゲーム機器などとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- DisplayPort – コンピューターとの接続に用いられる高精細デジタル映像で、音声信号を含みます。
- USB-C – 高解像度デジタル ビデオ / オーディオ信号の DisplayPort 入力 (USB Type-C の DisplayPort Alt Mode のみ) のコンピューターへの接続をサポートします。このディスプレイは、MHL や HDMI などの他の USB Type-C Alt Mode はサポートしていません。このポートは、マウス、キーボード、ストレージデバイスなどの USB 機器で使用するものではありません。

下表の映像信号タイミングを自動判別します。音声はコンピューター本体の設定変更が必要となる場合があります。詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。

解像度		垂直走査周波数	備考
水平	垂直		
640	× 480	60 Hz	
720	× 480	60 Hz	
720	× 576	50 Hz	
800	× 600	56/60 Hz	SVGA
1024	× 768	60 Hz	XGA
1280	× 720	50/60 Hz	720p
1280	× 960	60 Hz	
1280	× 1024	60 Hz	SXGA
1440	× 900	60 Hz	
1600	× 1200	60 Hz	UXGA
1680	× 1050	60 Hz	
1920	× 1080	50/60 Hz	1080p
1920	× 1200	60 Hz	推奨解像度

インターレース信号には対応していません。

お知らせ

入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

HDMI 出力端子のある機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

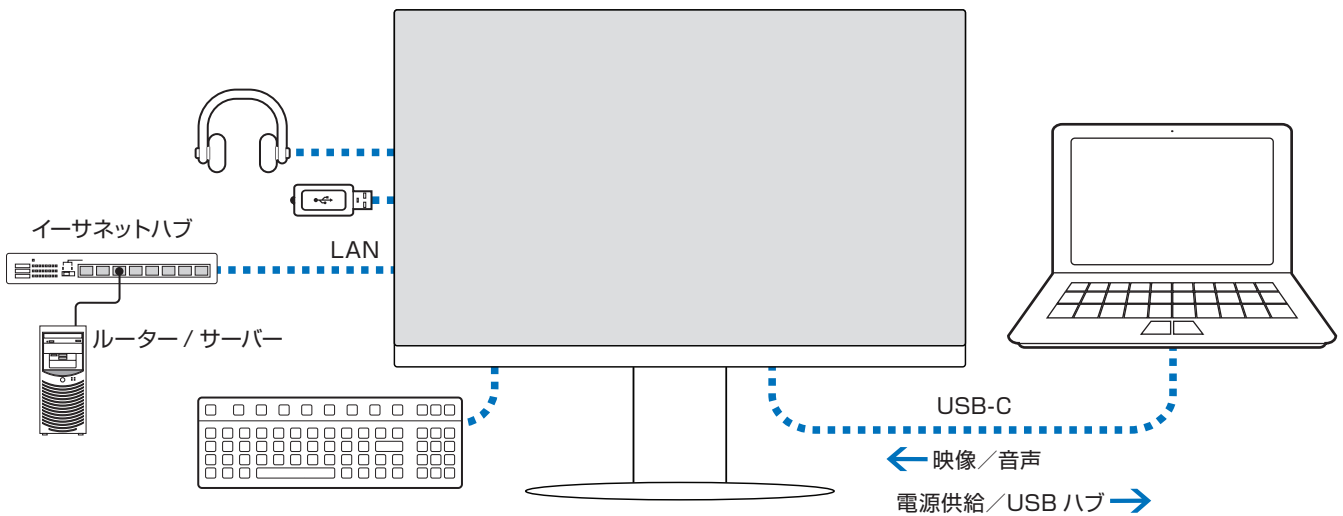
DisplayPort 出力端子のある機器との接続

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

USB Type-C でコンピューターに接続する



- ビデオ / オーディオ伝送に USB-C ポートを使用する場合は、USB 対応ロゴが付いている SuperSpeed USB ケーブルを使用してください。
- Hi-Speed USB (USB 2.0) ケーブルまたは充電ケーブルは、ビデオ / オーディオ伝送をサポートしていません。
- ビデオ / オーディオ伝送に USB-C ポートを使用する場合は、DisplayPort Alt Mode 対応のコンピューターポートを使用してください。
- HDMI Alt Mode または MHL はサポートされていません。
- コンピューターのバッテリー充電 (USB Power Delivery) を使用する場合は、USB Power Delivery に対応したコンピューターとケーブルを使用してください。
- 本機がコンピューターに認識されるまで数秒かかる場合があります。信号が認識されるまで、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

▲ 注意 付属品以外の USB-C ケーブルでは機能・性能が発揮されない場合があります。

ケーブル接続後、高さと角度を調節する (17 ページ) を参照し画面の位置を調節をしてください。

周辺機器と接続する

USB 機器の接続について

本機は、下記の USB ポートを装備しています。

- アップストリーム (USB-C/1 ポート) : 添付の USB-C ケーブルで USB-C 対応のコンピューターと接続します。
USB-C 未対応の場合は、市販の USB-C と USB 変換ケーブルをご使用ください。
- ダウンストリーム (2 ポート) : マウスやキーボードなど USB 機器のケーブルを接続します。(→ 16 ページ)

お知らせ

本機は SuperSpeed USB 5Gbps に対応しています。USB 2.0 または USB 1.1 で接続した場合の最大転送速度は、それぞれの規格値となります。

- ※ 「USB 機能」を「AUTO」または「オン」に設定してください (46 ページ)。
USB ハブの接続がコンピューター側で検出され、USB ハブ用のデバイスドライバーと USB モニター制御のデバイスドライバーが自動的にインストールされます。
コンピューターによっては、接続しても USB ハブと検出されない場合があります。その場合は画面に表示されるメッセージに従って、USB ハブ用のデバイスドライバーをインストールしてください。
- ※ USB 機能は使用するコンピューターの BIOS や OS、周辺機器によっては動作しない場合があります。この場合は、まず各使用機器の取扱説明書を確認したり、各機器のメーカーにお問い合わせください。
- ※ 以下の場合には事前に本機に接続した USB 機器を停止させて取り外してください。一部の USB 機器の場合、機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。
 - ・ 本機の電源スイッチをオフにする場合
 - ・ Windows® のシャットダウンを実行する場合
- ※ 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前に USB ケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返したりしないでください。
- ※ ダウンストリームポートへの電源供給 (Power Delivery) は「USB 機能」(46 ページ) で設定できます。

⚠ 注意 注意 3 を参照ください。

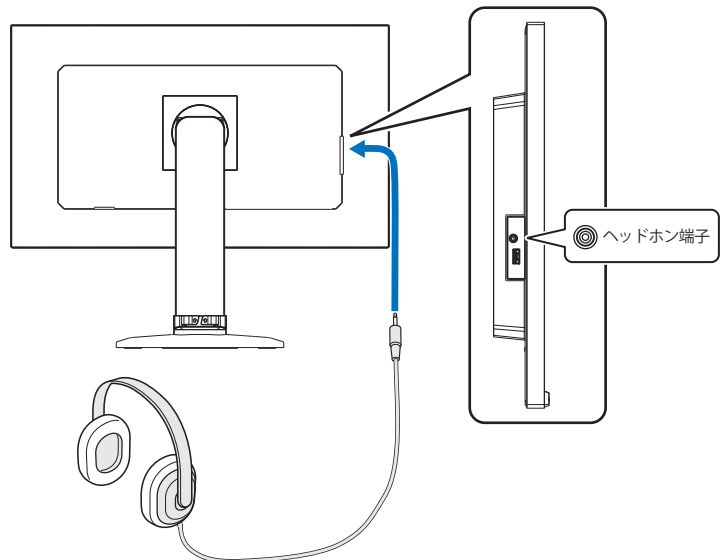
ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

⚠ 注意 注意 11 を参照ください。

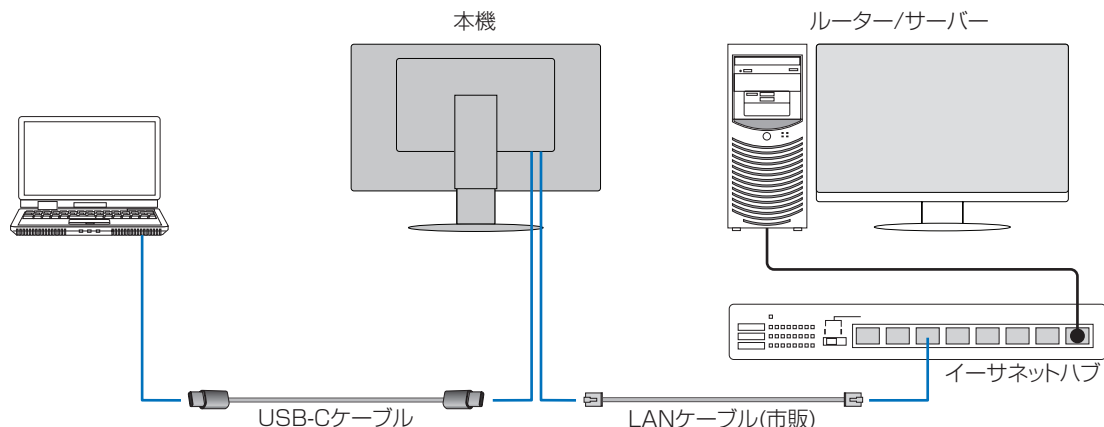
お知らせ

- ・ 液晶ディスプレイに接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ・ ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。



LAN ケーブルの接続

USB-LAN 変換機能により、コンピューターから本機 USB を経由し、安定かつ高速な通信ネットワークに接続します。
接続例



- USB-C ケーブルを接続してください。
- 本機 OSD の [USB 機能] を [AUTO] または [オン] にし、[USB LAN] を [オン] にしてください。
- デバイスドライバーは OS の標準ドライバーが自動的に適用されます。使用するコンピューター、OS によってはドライバーのインストールが必要です。(38 ページ)
- LAN ケーブルを本機に接続し、LAN ポートの LED が緑色に点灯しているか確認してください。
- 本機は 1000Mbps の通信に対応しています。1000Mbps での通信には適切な LAN ケーブルをご使用ください。
- USB-LAN 変換機能はパワーセーブモード時も動作し、[USB 機能] の設定により電源オフ時でも動作します。
- OSD の設定と電源の状態による USB の動作は以下の通りです。

OSD	USB機能	AUTO			オン			オフ		
	USB LAN	オン			オン			無効		
電源	電源状態	オン	省電力	オフ	オン	省電力	オフ	オン	省電力	オフ
	電源ランプ	青色	橙色	消灯	青色	橙色	消灯	青色	橙色	消灯
USB	電源供給	有効		オフ	有効		有効	無効		オフ
	HUB									
	LAN									

省電力: パワーセーブモード

複数台のディスプレイをマルチ接続する場合

DisplayPort のデージーチェーン接続により複数台のディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）することができます。マルチストリームを使用する場合は、マルチ接続しているすべてのディスプレイで DP OUT MULTISTREAM を「AUTO」に設定してください（46 ページ）。設定を変更する際はコンピューターに接続しているディスプレイの設定を最後にします。画面が表示されない場合はコンピューターに接続しているディスプレイの電源を入れ直してください。

OSD (46 ページ)	設定
DP OUT MULTISTREAM CLONE [出荷設定時]	DisplayPort 1.1a、シングルストリーム BIT RATE は HBR に固定されます。
DP OUT MULTISTREAM AUTO	DisplayPort 1.2、シングルストリームまたはマルチストリーム

コンピューターの OS の設定によっては拡張表示されない場合があります。OS のディスプレイ設定をご確認ください。

お知らせ

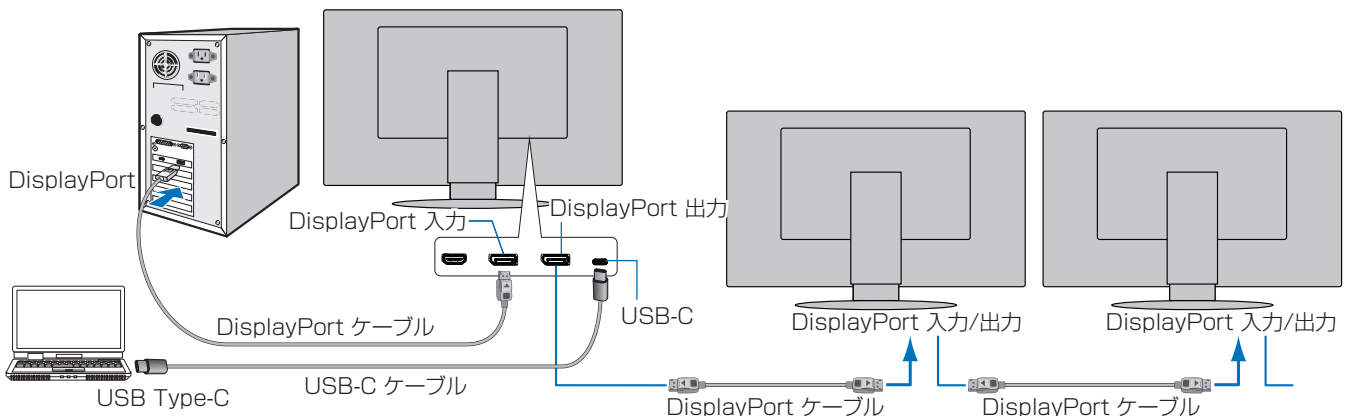
- ディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）する場合は添付の DisplayPort ケーブルをご使用ください。
- マルチ接続（数珠つなぎ）する場合は同じモデルのディスプレイを接続することをお奨めします。
- マルチストリームの使用にはマルチストリーム対応のビデオカードが必要です。
マルチストリーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。

マルチ接続（数珠つなぎ）する際の最大接続台数

	BIT RATE	コンピューターとの接続	最大接続台数（本機を含む）
マルチストリーム	HBR2 [出荷設定時]	DisplayPort	4 台（HDCP コンテンツ：2 台）
		USB-C	
	HBR	DisplayPort	2 台（HDCP コンテンツ：2 台）
		USB-C	

お知らせ

- マルチ接続（数珠つなぎ）できるディスプレイの接続台数はビデオカードにより異なります。
- [DP OUT MULTISTREAM] の [AUTO] を設定する際は「VIDEO DETECT」を「NONE」に設定してください。電源オフ時やパワーセーブ時からの復帰が安定します。
- マルチストリーム設定でコンピューターとの接続が USB-C の場合、USB デバイスが SuperSpeed に準拠していても HighSpeed (USB 2.0) として接続されることがあります。
USB 2.0 への切り替えでは、USB ハブが一時的に切断されます。



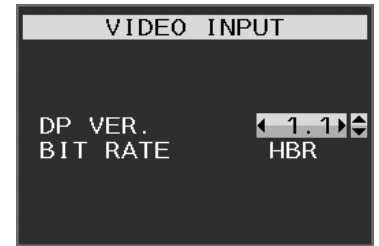
お知らせ

- 画面に何も表示されない場合は、「画面が不安定もしくは表示されない場合」の手順で DP VER を [1.1] に設定してください。（27 ページ）
- [DP OUT MULTISTREAM] の設定を変更すると一時的に USB ハブの接続が切れます。
設定を変更する際は接続している USB 機器を本機から取り外してください。
複数のディスプレイで表示している場合は、「DP OUT MULTISTREAM」を参照ください。（46 ページ）

画面が不安定もしくは表示されない場合

以下の手順で設定します。

1. コンピューターの電源を切ってください。
2. MENUキーをタッチし、「NO SIGNAL」のOSD画面を表示してください。
3. 「NO SIGNAL」の表示中に“^”キーをタッチし、VIDEO INPUT を表示してください。(右図)
4. “^”または“v”キーをタッチし、DP VER.を1.1に設定してください。
5. MENU キーをタッチし、OSD 画面を消してください。
6. コンピューターを再起動してください。



お知らせ

- マルチストリームまたはシングルストリームの使用にはこれらに対応したビデオカードが必要です。
- 使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。
- ディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）する場合は添付の DisplayPort ケーブルをご使用ください。

2 章 基本操作

この章の内容：

- ⇒ Plug&Play 機能 (29 ページ)
- ⇒ 拡大・スモーキングファイン機能 (29 ページ)
- ⇒ 自動入力選択機能 (3 系統入力時) (29 ページ)
- ⇒ パワーマネージメント機能 (30 ページ)
- ⇒ 人感センサー機能 (31 ページ)
- ⇒ オートブライトネス機能 (32 ページ)
- ⇒ 画面調節 (OSD 機能) (33 ページ)

Plug&Play 機能

VESA の DDC (Display Data Channel) 2B 規格または DisplayPort 規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

詳しくはコンピューターの取扱説明書を参照ください。

拡大・スミージングファイン機能

1920 ドット× 1200 ラインより低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

自動入力選択機能 (3 系統入力時)

ビデオ信号の入力の有無によって入力を切り替える機能です。

複数のコンピューターを本機に接続している場合、現在表示中のコンピューターの電源が切れると、INPUT/SELECT キーをタッチしなくても自動的にビデオ信号のある他のコンピューター画面に切り替わります。

お知らせ

VIDEO DETECT (46 ページ) を NONE に設定している場合、自動入力選択機能は動作しません。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力（標準値）	電源ランプ
最大動作時	118 W	青色点灯 * ¹
通常動作時（出荷設定時）	19 W	青色点灯 * ¹
パワーセーブモード時	0.30 W* ²	橙色点灯
電源オフ時	0.25 W* ²	点灯なし

*1 「LED ブライトネス」調節機能（46 ページ）で輝度を下げている時は、点灯しない場合があります。

*2 OSD の設定や接続している USB 機器により消費電力は変わります。

水平または垂直同期信号がオフ状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

- ・ キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かすと画面が復帰します。画面が復帰しない場合は、信号ケーブルの接続やコンピューターの電源状態をご確認ください。
- ・ 電源ランプが消灯している場合、「POWER SAVE TIMER」（46 ページ）が作動していることが考えられます。電源キーをタッチしてください。

HDCP（High-Bandwidth Digital Content Protection）

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。

HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDCP は、Digital Content Protection, LLC によって策定・管理されています。

HDCP の規格が変更された場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

人感センサー機能

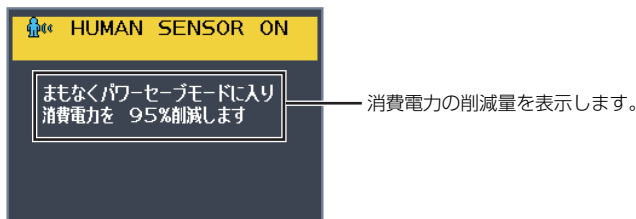
本機の前に人がいないときに、消費電力を削減する機能です。本機の前面のセンサー（15 ページ）により、在席・離席を感知します。人感センサー作動時のパワーセーブモードには、以下の 2 種類の設定があります。

モード	HUMAN SENSING の設定	不在時の状態
LIGHT	1	画面の明るさを 0% にします。
DEEP	2	パワーセーブモードに移行します。

下図は人感センサーの動作イメージを図にしたものです。

■ 離席を感知して、パワーセーブモードに移行するまで

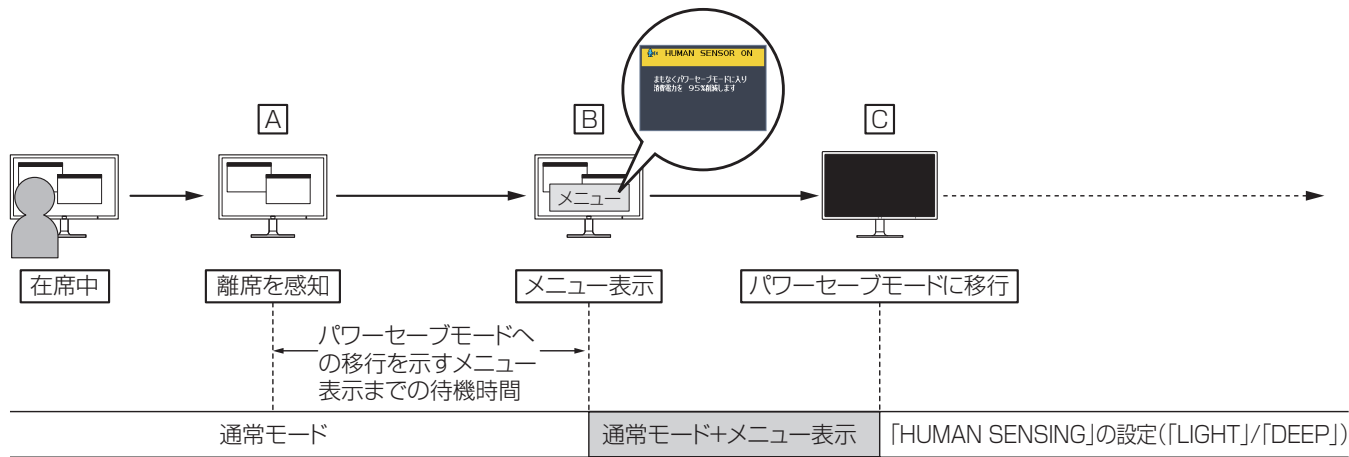
- ①人感センサーが離席を感知すると (A)、「HUMAN SENSING」>「START TIME」(44 ページ) で設定した時間待機します。
- ②待機中に在席が感知できなかった場合、パワーセーブモードへの移行を示すメニュー (B) が一定時間表示されます。



お知らせ

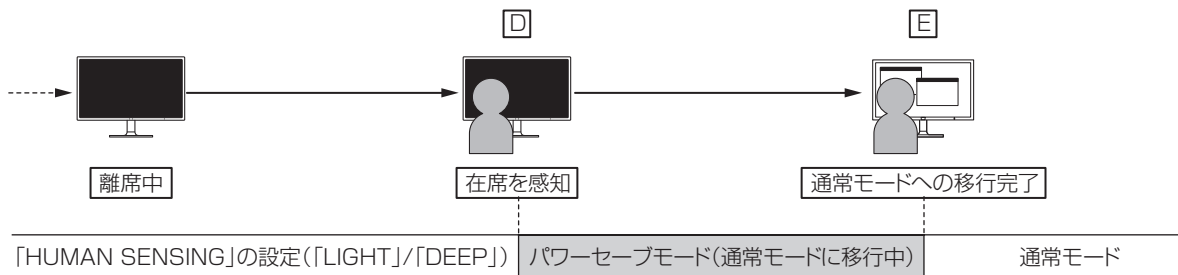
- メニュー画面の表示は、「SENSOR INFORMATION」(48 ページ) で設定できます。

- ③メニューが表示されてから一定時間が経過すると、「LIGHT」モード選択時は画面が徐々に暗くなり最後に明るさが 0% になります。「DEEP」モード選択時はパワーセーブモードに移行します (C)。



■ 在席を感知して、元の状態に復帰するまで

- ①在席を感知すると (D)、パワーセーブモードから通常モードへの移行を開始します (D→E)。
- ②通常モードへの移行が完了すると、「LIGHT」モード選択時は在席を感知してから画面が徐々に明るくなり、通常モードへの移行が完了した時に元の明るさに戻ります。「DEEP」モード選択時は画面が元の明るさに戻ります (E)。



オートブライトネス機能

「オートブライトネス」は、本機内蔵の照度センサーが室内の明るさに応じて表示画面の明るさを自動的に調節する機能です。調節範囲は以下の手順で設定してください。

手順① 下の OSD 画面で「オン」を選択します。



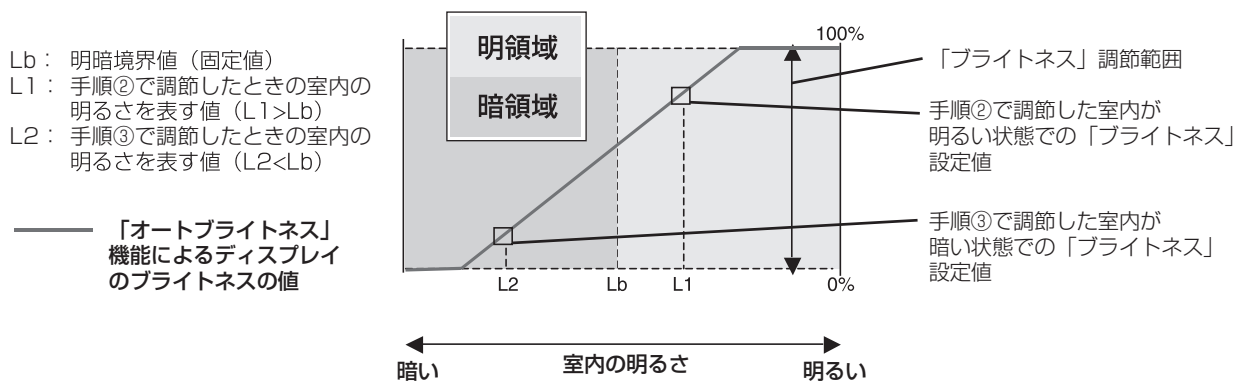
手順② 室内が明るい状態で「ブライトネス」をお好みの値に調節します。



手順③ 室内が暗い状態で「ブライトネス」をお好みの値に調節します。



上記手順①～③の設定が完了すると、室内の明るさに応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。下図はその動作イメージです。

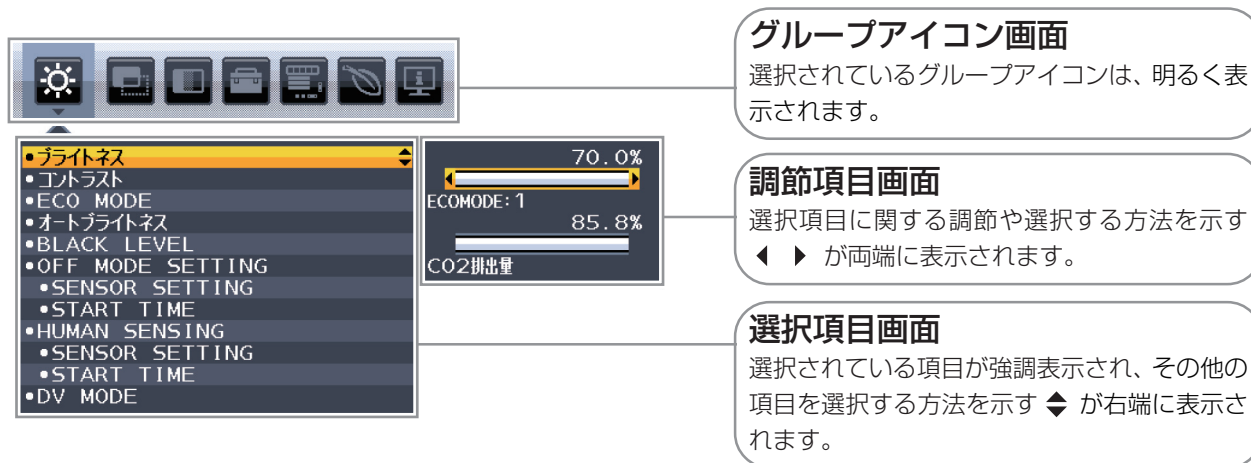


画面調節 (OSD 機能)

本機は前面タッチキーを操作して、OSD (On Screen Display) に表示される項目を調節できます。

OSD 画面の構成

OSD 画面の構成は、以下のとおりです。



ECO 機能：環境に関する設定



画面調節：画面サイズなどの設定



カラー調節：画面の色合いの調節



ツール：音量などの設定



メニューツール：言語や OSD などの設定



ECO インフォメーション：ECO に関連する情報を表示



インフォメーション：モデル名などの情報を表示

3章 困ったとき

この章の内容：

⇒ 故障かな?と思ったら ... (35 ページ)

故障かな？と思ったら ...

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは ...

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.53
	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P.15
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.19
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		電源コードをコンピューター本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
		「LED ブライトネス」調節機能で輝度を下げていると電源ランプが点灯しない場合がありますので、確認してください。	P.46
		「POWER SAVE TIMER」が作動している可能性があります。電源キーをタッチしてください。	P.46
	電源ランプが青色に点灯している場合	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.33
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.53
		● 正常な状態で OSD 画面が表示されれば故障ではありません。MENU キーをタッチして、メニューを表示させてください。その後、「ブライトネス」を調節してください。	P.43
● OSD 画面が正常に表示され、「ブライトネス」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。		P.20, P.22	
電源ランプが橙色に点灯している場合	● 人感センサーが、人がいないと認識している可能性があります。人感センサーの感度を調節してください。	P.44	
	電源ランプが青色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P.30
	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.20	
	変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		
	コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		
	信号入力がないコネクターが選択されているか、「VIDEO DETECT」が「NONE」になっている可能性があります。INPUT/SELECT キーをタッチして入力コネクターを切り替えるか、「VIDEO DETECT」を「FIRST」に切り替えてください。	P.15, P.46	
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。	P.53



*ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは ...

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.2
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 ブライツネスを下げてください。	P.43
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
線の太さなどがぼやける	1920 × 1200 以外の解像度の画像を表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.10
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.41
画面の表示状態が変わっていく	「オートブライツネス」が「オン」に設定されている場合、室内の明るさにより表示画面の明るさが自動的に調節されます。 「DV MODE」が「DYNAMIC」に設定されている場合、表示画面の内容により表示画面の明るさが自動的に調節されます。画面の明るさを固定する場合は、「DV MODE」を「スタンダード」に設定してください。	P.43 P.44
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	液晶パネルは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示したり、高速に微動や点滅が繰り返される映像を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば像は 1 日程度で消えます。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P.10
表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。 ● 正常な状態で OSD 画面が表示されれば故障ではありません。「カラー調節」を選択しお好みで色の割合を調節していただくか、または ECO/RESET キーで工場設定値に戻してください。	P.33 P.53 P.45
表示色がおかしい	● OSD 画面が正常に表示され、「カラー調節」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.20, P.22, P.45
表示がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。 ● 正常な状態で OSD 画面が表示されれば故障ではありません。HDMI 接続の場合、「VIDEO LEVEL」または「OVER SCAN」の設定を変更してください。	P.33 P.53 P.45
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	分配機を使用している場合は、分配器を中継させず、コンピューターと直に接続してください。 OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付／アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。OSD 画面が正常に表示されてもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.20 P.33 P.53 P.20, P.22

画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が一瞬乱れることがあります。故障ではありません。	P.20
人がいないのに人感センサー機能が動作しない	OSDの「HUMAN SENSING」の人型のアイコンが検出範囲の中にある場合、離席と判断されません。OSDにて人感センサーの感度を調節してください。 人感センサーは赤外線反射量を検知しております。センサーの前に障害物があったり、赤外線を放出する機器が近くにある場合正しく動作しないことがあります。	P.44
画面表示が暗い	OSDの「HUMAN SENSING」の人型のアイコンが検出範囲の右側にある場合、ディスプレイの前に座っていても離席と判断されてパワーセーブモードになり輝度が下がったり、非表示となります。OSDにて人感センサーの感度を調節してください。	P.44
画面にノイズが生じる、画面が不安定もしくは表示されない	DisplayPort またはUSB Type-C ケーブルで接続し、解像度 1920 × 1200 の設定で表示している場合は、「画面が不安定もしくは表示されない場合」を参照し、設定を変更してください。	P.27

案内画面／注意画面が表示されたら ...

症状	原因	対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！ ^{*1} 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P.20
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P.30
	「VIDEO DETECT」が作動していない可能性があります。	INPUT キーで入力を選択し、「VIDEO DETECT」を「NONE」に設定してください。	P.15, P.46
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！ ^{*2} 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.22
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.22

※ 1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターのマニュアルをご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続しているUSB 対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない。	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない。(ドライバーインストールが必要なUSB 対応周辺機器のみ)	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで「不明なデバイス」と表示される場合は、「不明なデバイス」をデバイスマネージャー上で削除し、USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
	USB 機能がAUTOまたはオンに設定され、USB アップストリームポートとコンピューターが接続されていない。コンピューターの電源が入っていない。	USB 機能がAUTOまたはオンに設定されている場合、本機のUSB ダウンストリームポートは、アップストリームポートとコンピューターを接続し、コンピューターの電源が入っている場合に動作します。USB アップストリームポートとコンピューターを接続し、コンピューターの電源を入れてください。
	USB 機能がオフになっている。	USB 機能の設定をAUTOまたはオンにしてください。
複数のUSB 対応周辺機器を接続すると、USB 対応周辺機器が正常に動作しない。	USB 対応周辺機器が同時に複数台接続することに対応していない。	1 つ 1 つのUSB 対応周辺機器を単独で動作させてください。
USB ハブを多段接続(複数台の連結接続)した後に、USB 対応周辺機器を接続すると、USB 対応周辺機器が正常に動作しない。	USB 対応周辺機器が、USB ハブの多段接続に対応していない。	USB 対応周辺機器をコンピューターに近いUSB ハブに接続してください。
LANで通信できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 1000Mbpsで通信する際は、適切なLANケーブルを使用してください。 ● USB-Cケーブルでコンピューターを接続していることを確認してください。 ● LANポートのLEDが点灯しているか確認してください。 ● [USB機能]を[AUTO]または[オン]にし、[USB LAN]を[オン]にしてください。 ● 使用するコンピューター、OSによってはドライバーのインストールが必要です。最新のドライバーはRealtek社webサイト"Realtek USB GbE Family controller"から該当OSのファイルをダウンロードしてください。 	

<p>USB Type-C 機器を使用時</p>	<p>画面に「USB-Cケーブルを外してください」画面が出た</p> 	<p>異常な電圧または電流が検出された場合に表示されます。USB Type-C ケーブルを速やかに抜いてください。</p>
	<p>画面に何も映らない</p>	<p>接続したUSB Type-C 機器がDisplayPort Alt Mode on USB Type-C規格に対応しているか確認してください。</p> <p>USB Type-C ケーブルがSuperSpeed USBに対応しているか確認してください。</p> <p>「USB 機能」が「AUTO」または「オン」に設定されているか確認してください。</p>
	<p>充電が始まらない、充電が不安定</p>	<p>接続したUSB Type-C 機器がUSB Power Delivery規格に対応しているか確認してください。</p> <p>USB Type-CケーブルがUSB Power Deliveryの認証を取得しているか確認してください。</p> <p>「USB 機能」が「AUTO」または「オン」に設定されているか確認してください。</p> <p>USB-C ポートの過電圧、過電流の可能性があります。USB Type-C ケーブルを取り外してください。</p>
<p>スピーカーから音が出ない！</p>	<p>ヘッドホンがつながっている場合、スピーカーから音は出ません。</p> <p>音量が最小になっている。またはミュート（消音）機能が働いている可能性があります。</p> <p>コンピューターによっては音声を出力する場合、コンピューター本体の設定変更が必要な場合があります。</p> <p>接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。</p>	<p>ヘッドホンを外してください。</p> <p>OSD メニューの「音量」で音量を調節、またはECO/RESETキーをタッチしてミュートをオフにしてください。(46ページ)</p> <p>お使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。</p> <p>音声出力対応の機械を接続してください。</p>

お知らせ

- WINDOWS3.1 や WINDOWS NT3.51、WINDOWS95(OSR1 など) では USB 対応周辺機器はご利用できません。

4章 仕様

この章の内容：

⇒ EA242WU (41 ページ)

EA242WU

型名	LCD-EA242WUシリーズ		
サイズ(表示サイズ)	24.1型(61.13 cm)		
有効表示領域	518.4 × 324.0 mm		
表示画素数	1920 × 1200		
画素ピッチ	0.270 mm		
表示色	約1677万色		
視野角(標準値)* ¹	左右178°、上下178°		
輝度(標準値)	300 cd/m ²		
コントラスト比(標準値)	1000 : 1 (5000 : 1、DV MODE「DYNAMIC」使用時)		
応答速度(標準値)	14 ms (6 ms RESPONSE IMPROVE オン時) (Gray to Gray)		
走査周波数	水平周波数	31.5-77.0 kHz	
	垂直周波数	50 ~ 60 Hz(デジタル)	
入力端子	DisplayPort	DisplayPortコネクタ	デジタルRGB信号
		USB-Cポート	デジタルRGB信号
出力端子	HDMI	HDMIコネクタ	デジタル色差信号 デジタルRGB信号
		DisplayPort	DisplayPortコネクタ
音声端子	オーディオ入力	DisplayPortコネクタ	デジタル音声信号
		USB-Cポート	デジタルRGB信号
		HDMIコネクタ	デジタル音声信号
	ヘッドホン出力	3.5φステレオミニジャック	音声信号
音声出力	スピーカー		1 W + 1 W(ステレオ)
USB	ポート		SuperSpeed USB 5Gbps ダウンストリーム2個 アップストリーム1個(USB-Cポート)
	供給電源		ダウンストリームポート 5V、0.9A(最大) USB-Cポート 65W(最大)
	LAN		RJ-45 10 BASE-T / 100 BASE-TX / 1000 BASE-T
使用環境条件	温度	5 ~ 35°C	
	湿度	20 ~ 80%(結露のないこと)	
	高度	0 ~ 5000 m	
保管環境条件	温度	-10 ~ 60°C	
	湿度	10 ~ 85%(結露のないこと)	
電源	電源入力		AC100 V、50/60 Hz
	消費電力(標準値)	最大動作時	118 W
		通常動作時	19 W(工場出荷時)
		パワーセーブ時	0.30 W
質量	約6.7 kg(スタンドなし4.2 kg)		
外形寸法	横型設置		531.5 mm(横) x 365.3 mm - 515.3 mm(縦) x 250.0 mm(奥行)
	縦型設置		347.8 mm(縦) x 549.6 mm - 613.4 mm(横) x 250.0 mm(奥行)
スタンド可動域	高さ		150 mm(横型設置時) 63.8 mm(縦型設置時)
	チルト角度* ² /ピボット角度/スイーベル角度		上35°下5° / ±90° / ±170°

*1 視野角：白と黒のコントラスト比が10以上で表示できる角度を示します。

*2 本機に市販のアームを取り付けた場合を含みます。

仕様は予告なしに変更することがあります。

付録 A OSD 調節リスト

この章の内容：

- ⇒ ECO 機能 (43 ページ)
- ⇒ 画面調節 (45 ページ)
- ⇒ カラー調節 (45 ページ)
- ⇒ ツール (46 ページ)
- ⇒ メニューツール (47 ページ)
- ⇒ ECO インフォメーション (49 ページ)
- ⇒ インフォメーション (49 ページ)

ECO 機能

ECO 機能	
ブライツネス	調節バー (0.0% ~ 100.0%) が表示されます。<> キーをタッチして、画面をお好みの明るさに調節してください。
コントラスト	調節バー (0.0% ~ 100.0%) が表示されます。<> キーをタッチして、画面をお好みのコントラストに調節してください。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ カラー調節のプリセットが「L/B」に設定されている場合、コントラストは変更できません。
ECO MODE	ブライツネスの最大値を制限することで電源消費量を削減することができます。 オフ ：最大値を 100% に設定します。 1(10% POWER SAVINGS) ：ブライツネスの最大値を 70% に設定します。また、ブライツネス調節バーの下に CO2 排出量を表示します。 2(30% POWER SAVINGS) ：ブライツネスの最大値を 30% に設定します。また、ブライツネス調節バーの下に CO2 排出量を表示します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ DV MODE が DYNAMIC に設定されている場合は、ECO MODE はオフとなり変更できません。 ・ カラー調節のプリセットが D (DICOM SIM.) に設定されている場合は、ECO MODE はオフとなり変更できません。
オートブライツネス	画面の明るさを自動的に調節します。 オフ ：明るさの自動調節機能は作動しません。 オン ：オートブライツネス機能 (32 ページ) を使用して、室内の明るさに応じて画面の明るさを調節します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ DV MODE が DYNAMIC に設定されている場合は、オートブライツネスはオフとなり変更できません。 ・ カラー調節のプリセットが D (DICOM SIM.) に設定されている場合は、オートブライツネスはオフとなり変更できません。
BLACK LEVEL	黒輝度を 0.0% ~ 100.0% の範囲で手動設定します。
OFF MODE SETTING	パワーセーブモードを選択します。 オフ ：輝度センサーによるパワーセーブモードに移行する機能は作動しません。 オン ：周囲の明るさが設定値よりも暗くなるとパワーセーブモードに移行します。周囲の明るさが設定値よりも明るくなると、自動的にパワーセーブモードから復帰します。周囲の明るさに関係なくパワーセーブモードから復帰させるには、本体正面の MENU キーをタッチするか、<> キーまたは ^v キーをタッチしてください。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ オンを選択した場合、パワーセーブモードに移行する時の明るさは、OFF MODE SETTING の SENSOR SETTING で設定します。また、パワーセーブモードに移行するまでの時間は OFF MODE SETTING の START TIME で設定します。
SENSOR SETTING	OFF MODE SETTING で SENSOR を選択したときに、パワーセーブモードに移行する周囲の明るさを設定します。調節バー (0.0% ~ 100.0%) が表示されます。<> キーをタッチして、周囲の明るさの設定を調節してください。また、調節バーの下には、現在の周囲の明るさが表示されます。
START TIME	OFF MODE SETTING で SENSOR を選択したときに、パワーセーブモードに移行するために必要な時間 (秒) を設定します。調節バー (1 秒 ~ 255 秒) が表示されます。<> キーをタッチして、時間を調節してください。

ECO 機能	
HUMAN SENSING	<p>人感センサーによるパワーセーブモードを選択します。</p> <p>オフ： 人感センサー機能を使用しません。</p> <p>1 (LIGHT)： 人感センサーが離席を感知すると、画面の明るさを最小限にします。席に戻ったことを感知すると、自動的に元の画面の明るさに戻します。</p> <p>2 (DEEP)： 人感センサーが離席を感知すると、パワーセーブモードに移行します（画面が消えます）。席に戻ったことを感知すると、自動的にパワーセーブモードから復帰します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 人感センサーが離席を感知すると、パワーセーブモードに移行する前に警告画面が表示されます。警告画面の表示は、SENSOR INFORMATION (48 ページ) で設定できます。 人感センサーの感度は HUMAN SENSING の SENSOR SETTING で設定します。また人感センサーが離席を感知してからパワーセーブモードに移行するまでの時間は、HUMAN SENSING の START TIME で設定します。
SENSOR SETTING	<p>人感センサーで離席を感知する感度を設定します。人型のアイコンが調節バーにて調節される検出範囲より右側にある場合に、離席を感知します。(人型のアイコンはディスプレイの現在の感知状況を表示しています。) <> キーをタッチして、感度を調節してください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> OSD 画面が表示されている状態では、人感センサー機能は動作しません。 人感センサーは、画面から約 1.5m 以内の人の動きを感知します。 感度は、服の色や着座位置によって変化する場合があります。
START TIME	<p>人感センサーが離席を感知してからパワーセーブモードに移行するまでの時間 (秒) を設定します。調節バー (1 秒 ~ 255 秒) が表示されます。<> キーをタッチして、時間を調節してください。</p>
DV MODE (Dynamic Visual Mode)	<p>DV MODE をお好みに応じて切り替えます。</p> <p>スタンダード： 標準の設定です。</p> <p>テキスト： 中間階調にメリハリをつけ、文字やラインをくっきり見せる通常のワープロや表計算ソフト等に適した設定です。</p> <p>ムービー： 暗いシーンの階調表現力を引き上げ、奥行き感を再現する映画に適した設定です。</p> <p>ゲーム： 全体の明るさを引き上げ、より迫力ある画像を提供するゲームに適した設定です。</p> <p>フォト： 白黒にメリハリをつけた、自然画、静止画に適した設定です。</p> <p>DYNAMIC： 画面表示に黒い部分が多くなると自動的に画面の明るさを下げ、コントラストを向上させます。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> DV MODE 「ムービー」、「ゲーム」、「フォト」が選択されるとカラー調節のプリセットは「N(NATIVE)」になります。DV MODE 「DYNAMIC」が選択されていると ECO MODE、オート ブライツネスはオフとなり変更できません。 カラー調節のプリセットが L/B、D (DICOM SIM.)、PROGRAMMABLE に設定されている場合は、DV MODE はスタンダードとなり変更できません。

画面調節

画面調節	
VIDEO LEVEL (HDMI 入力のみ)	NORMAL : コンピューター用の設定です。入力信号の 0 ~ 255 階調をすべて表示します。 EXPAND : AV 機器用の設定です。入力信号の 16 ~ 235 階調を 0 ~ 255 階調に拡張して表示します。
OVER SCAN (HDMI 入力のみ)	画像表示エリアを選択します。 オン : 入力信号の約 95% を表示します。 オフ : 入力信号のほぼ 100% を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る場合があります。
画面サイズ	自動的に表示画面を拡大する機能です。入力信号が推奨解像度ではない場合に機能します。 フル : 設定されている画面を全画面に表示します。 アスペクト : 縦横寸法比率を変えずに画面を拡大します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 一部の解像度では画面全体には拡大できません。 入力信号により、表示画面が縦または横方向に十分に拡大されないことがあります。
RESPONSE IMPROVE	液晶の中間調応答速度が向上します。動画表示時における残像感を低減させることができます。
SHARPNESS	調節バーが表示されます。お好みに応じて、文字や画像のキレを調節することができます。 <> キーでソフト/シャープを調節してください。

カラー調節

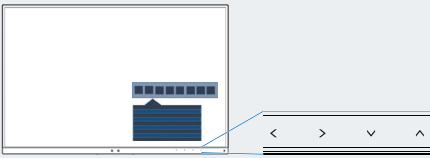
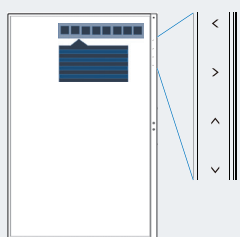
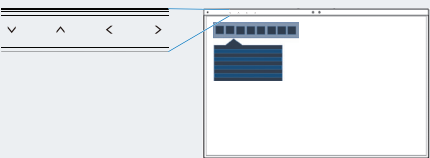
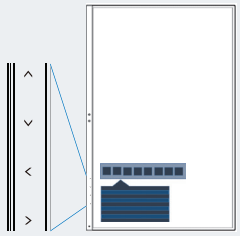
カラー調節	
1、2、3、4、5	お好みに応じて設定できる色合いが用意されています。 色調節 : 「1」「2」「3」「4」「5」の各設定値は、「RED」: 赤、「GREEN」: 緑、「BLUE」: 青の各色について、色の割合を調節できます。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 色調節した場合は、色温度の表示が「USER」になります。 ECO キーをタッチした後、INPUT/SELECT キーをタッチすると、出荷時の設定値に戻すことができます。 「4」(sRGB (6500K)) は色再現国際規格 sRGB に対応した色で表現します。
N (NATIVE)	液晶パネル本来の色合いで表示します (RGB の値は調節できません)。
L/B	画面から発光されるブルーライトを低減します (RGB の値は調節できません)。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> INPUT キーを 3 秒以上タッチするとブルーライト低減モードに切り替わり、画面から発光されるブルーライトを低減します。色合いを変更する場合は MENU キーをタッチして OSD 画面を表示し、「カラー調節」から変更します。 「L/B」を選択している場合、「コントラスト」と「DV MODE」は設定できません。
D (DICOM SIM.)	白色の色温度とガンマは、DICOM 簡易表示に近い設定となります (RGB の値は調節できません)。実際の診断には使用しないでください。
P (PROGRAMMABLE)	専用のソフトウェアを用いて設定したグレースケールが有効になります。

ツール

ツール	
音量	スピーカーの音量を調節します。ECO/RESET キーをタッチすると、ミュート（消音）状態になります。もう一度 ECO/RESET キーをタッチすると、ミュート（消音）状態は OFF になります。
VIDEO DETECT	複数のコンピューターと接続している場合に、入力信号があるコネクタを自動的に選択する機能です。選択されているコネクタは OSD 画面のインフォメーションで確認できます。 FIRST ： 現在表示しているコネクタのビデオ信号がなくなってしまったときに他のコネクタからビデオ信号を入力している場合は、入力信号があるコネクタへ自動的に切り替えます。 NONE ： 自動入力選択機能は作動しません。
DP OUT MULTISTREAM	複数のディスプレイを DisplayPort ケーブルでマルチ接続（数珠つなぎ）した際に設定します。 AUTO ： コンピューターの設定により自動的にシングルストリームもしくはマルチストリームを設定します。 マルチストリーム設定の場合、マルチ接続（数珠つなぎ）した各ディスプレイに個別の画像を表示します。 CLONE ： シングルストリームを設定します。マルチ接続（数珠つなぎ）した各ディスプレイに同じ画像を表示します。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 画像が表示されない場合は「複数台のディスプレイをマルチ接続する場合」（26 ページ）を参照ください。 マルチストリームの使用には、マルチストリーム対応のビデオカードが必要です。マルチストリーム使用の際の制限については販売店にお問い合わせください。
オフタイマー	本機の電源を入れたあと、設定された時間になると電源が自動的に切れるようにする機能です。<> キーをタッチして 1 時間～ 24 時間まで、1 時間ごとの設定が可能です。電源を切り忘れても自動的に切れるため、電力の削減に有効です。
POWER SAVE TIMER	パワーマネジメント機能が 2 時間継続すると、電源が自動的に切れるようにする機能です。
LED ブライトネス	調節バー（0.0%～100.0%）が表示されます。<> キーをタッチして、電源ランプの照明をお好みの明るさに調節してください。
DDC/CI	DDC/CI 機能をオン/オフします。 オフを選択した場合は、NaViSet Administrator 2 を使用して、コンピューターから本機を操作することができません。
USB 機能	USB ダウンストリームへの電源供給、USB-C からの信号入力、USB 外部通信の設定ができます。 ※ 事前に本機に接続した USB 機器を停止させてください。一部の USB 機器の場合、機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。 AUTO ： 本機の電源のオン/オフや接続しているコンピューターの状態に連動します。 オン ： 本機の状態や接続しているコンピューターの状態に関係なく動作します。 オフ ： 接続している USB 機器は動作しません。 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 接続している USB 機器により消費電力は変わります。 USB-C ケーブルが本機に接続されていて最初に電源を入れた時、オールリセットをかけた後または [USB 機能] が [オフ] になっている場合に電源を入れなおすと、USB 機能メッセージが表示されます。[USB 機能] の設定をしてください。
USB LAN	LAN ポートをオン/オフします。 LAN ポートを使用する場合は [オン] にしてください。LAN ケーブルの接続 (25 ページ) を参照ください。
オールリセット	ブライトネス、コントラスト、ECO MODE、DV MODE、画面調節、カラー調節、OSD オートオフ、音量、オフタイマー、画面サイズ、DDC/CI などは、「オールリセット」で出荷時の状態に戻すことができます。画面の表示にしがたって操作してください。

メニューツール

メニューツール	
言語切替 (LANGUAGE)	OSD 画面の表示言語のリストが表示されます。<> キーをタッチして、言語を切り替えてください。
OSD オートオフ	OSD 画面を表示させたあと、設定された時間になると OSD 画面が自動的に消えるようにする機能です。 <> キーをタッチして、時間を設定してください。時間は、5 秒単位で 10 秒～ 120 秒の範囲から選択できます。
OSD ロック	誤って調節してしまうことを防ぐための OSD 画面操作禁止機能です。OSD ロック中でもbrightnessとコントラストと音量は調節可能です。 OSD ロックを設定する MENU キーをタッチして、OSD 画面を表示します。メニューツールの OSD ロックが選択された状態で、INPUT/SELECT キーをタッチしながら > キーをタッチしてください。 OSD ロックを解除する MENU キーをタッチして、OSD ロック状態画面を表示します。OSD 画面を表示した状態で INPUT/SELECT キーをタッチしながら < キーをタッチしてください。
OSD 方向	OSD 画面の方向を設定します。 表示される画面の向きに応じて、適切な OSD 方向を選択してください。 お知らせ • キーガイドを表示するには、KEY GUIDE をオンにしてください。

方向	OSD メニュー表示状態	Key guide
0		<: 左 >: 右 v: 下 ^: 上
90		
180		
270		

メニューツール	
ホットキー	<p>OSD 画面が表示されていない場合でも ECO MODE の切り替えや、ブライトネスまたは音量を調節できます。</p> <p>オン： OSD 画面が表示されていない状態で、以下の機能を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECO/RESET キーをタッチすると、ECO MODE を切り替えられます。 • ▲ キーをタッチするとブライトネス調節画面を表示します。 • ▼ キーをタッチすると音量調節画面を表示します。 <p>オフ： OSD 画面が表示されていない状態で ECO/RESET キー、<、> キー、▼▲ キーを操作しても、何も機能しません。MENU キーをタッチして、OSD 画面を表示してから各機能を調節してください。</p>
入力表示	<p>オン： 入力信号が切り替わったときに、画面右下に入力信号の情報を表示します。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 初めて電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示します。電源オフにした状態で電源コードを抜き再接続した場合を除き、その後マークの表示はしません。入力信号を切り替えてもコンプライアンスマークは表示しません。 <p>オフ： 入力信号が切り替わっても、画面右下に入力信号の情報が表示されません。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源を入れた時にコンプライアンスマークを表示しません。
SENSOR INFORMATION	<p>人感センサーが離席を感知したときに、パワーセーブモードへの移行を示すメニューを表示する／表示しないを設定します。</p> <p>オン： 画面右下にメニューを表示します。</p> <p>オフ： メニューを表示しません。</p>
KEY GUIDE	<p>画面上にキーの名称を表示する／表示しないを設定します。</p> <p>オン： 画面上にキーの名称を表示します。</p> <p>オフ： 画面上にキーの名称を表示しません。</p>
CUSTOMIZE SETTING	<p>現在の OSD 機能の全設定を記憶し、簡単に復元することができます。</p> <p>現在の設定を記憶する</p> <p>MENU キーをタッチして、OSD 画面を表示します。メニューツールの CUSTOMIZE SETTING を選択した状態で、INPUT/SELECT キーをタッチします。ECO/RESET キーをタッチすると現在の設定が記憶されます。</p> <p>記憶した設定を復元する</p> <p>OSD 画面が表示されていないときに、MENU キーを 3 秒以上押します。</p>

ECO インフォメーション

ECO インフォメーション	
CO ₂ 削減量	電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を CO ₂ 削減量 (kg) で表示します。
CO ₂ 排出量	本機による累積 CO ₂ 排出量を表示します。この値は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。
COST 削減量	電源オン時およびパワーマネージメント機能動作時の積算した省エネ効果を電気料金 (差額) で表示します。
CARBON CONVERT SETTING	CO ₂ 削減量算出に使用する、CO ₂ - 電力量換算値を調節します。この値の初期値は OECD (経済協力開発機構) 2008 年 Edition を使用しています。
CURRENCY SETTING	電力料金表示の通貨単位を設定します。各記号は下記の国の通貨単位です。 \$: 米国ドル kr : スウェーデンクローネ € : 欧州ユーロ py 6 : ロシアルーブル £ : 英国ポンド ¥ : 日本円
CURRENCY CONVERT SETTING	電気料金算出に使用する、電気料金 - 電力量換算値を調節します。 この値の各初期値は下記の値を使用しています。 米国ドル: \$0.11 OECD 2008 年 Edition スウェーデンクローネ: kr1.1 EUROSTAT 2008 年 Edition 欧州ユーロ: €0.19 OECD 2007 年 Edition ロシアルーブル: py 6 1.2 OECD 2008 年 Edition 英国ポンド: £0.13 OECD 2008 年 Edition 日本円: ¥20 OECD 2006 年 Edition

インフォメーション

インフォメーション	
表示モード	入力している信号の情報、MODEL (型名) と SERIAL NUMBER (製造番号)、USB-C ポートの動作状態を表示します。

付録 B 市販のアームを取り付けるとき

この章の内容：

⇒ 市販のアームを取り付けるとき (51 ページ)

市販のアームを取り付けるとき

本機には VESA 規格に準拠した（100mm ピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

⚠ 警告 **警告 10** を参照ください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

お願い

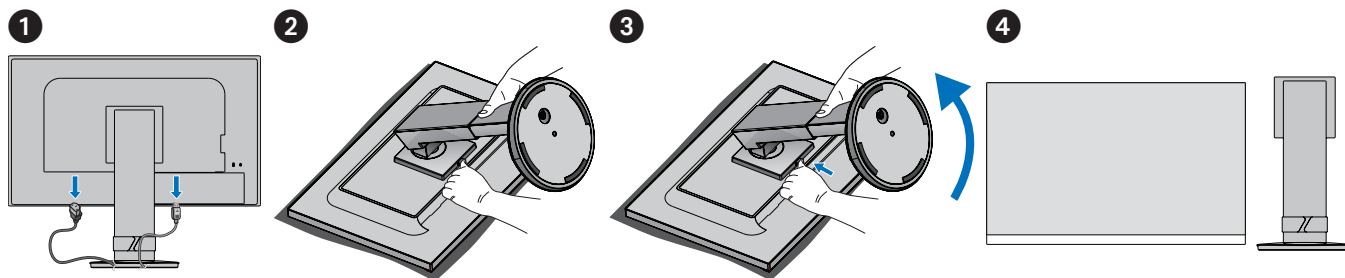
市販のアームについては販売店にお問い合わせください。

アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

スタンドの取り外し方

1. 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源をきってから、電源コード、信号ケーブルを取り外す
2. 平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示画面を下向きにして置く
3. 図のように固定用ボタンを押しながらスタンドを持ち上げて取り外す

⚠ 注意 **注意 6** を参照ください。



お願い

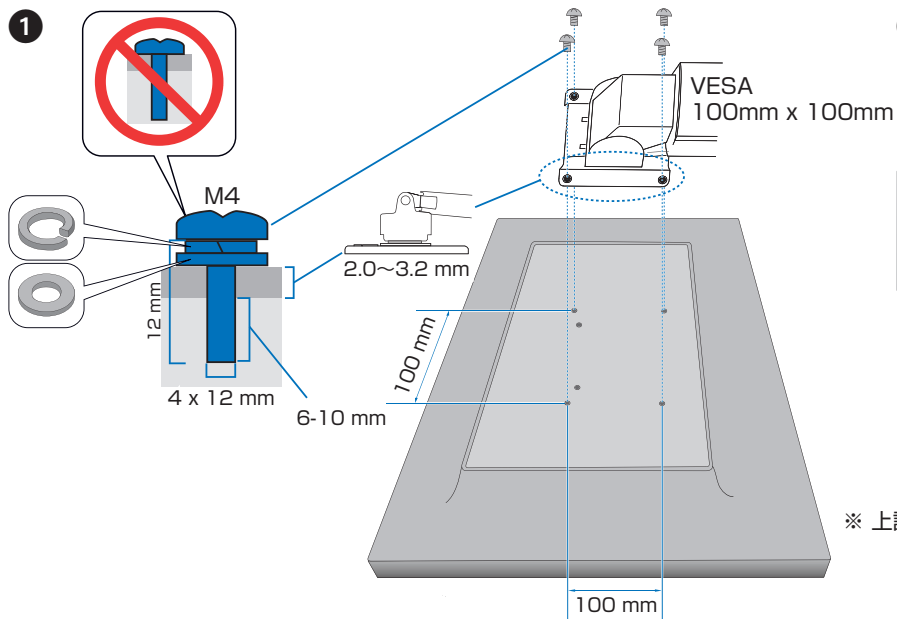
- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順です。
- スタンドの取り付けはお客様の責任となります。万一事故が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。

アームの取り付け方

1. 下記仕様のアームを取り付ける

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0mm ~ 3.2mm



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

⚠ 注意 注意 7 を参照ください。

付録 C その他

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/display.html>

法人のお客様（産業廃棄物として廃棄される場合）

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記 Web サイトをご参照ください。

個人のお客様

“PC リサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

- ※ “PC リサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。
 - ※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PC リサイクルマーク”を提供いたします。
- お申し込み方法は上記 Web サイトをご参照ください。



リサイクル

PC リサイクルマーク

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121 コンタクトセンター	NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール：0120-977-121 携帯電話、PHS などフリーコールをご利用できないお客様は こちらの番号へおかけください。 03-6670-6000（通話料お客様負担）	フリーコール：0120-00-8283 携帯電話をご利用のお客様は こちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
最新の情報については、 https://support.nec-lavie.jp/121cc/ をご覧ください。	受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の 所定休日とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 型名：LCD-EA242WU シリーズ
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数